

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート

計画の名称 愛媛県水道施設耐震化等促進事業計画

都道府県名 愛媛県

| 項目 | | |
|--|-------|---|
| 評価細目 | チェック欄 | 説明欄 |
| I 目標の妥当性 | | |
| ① 上位計画との整合性 | ○ | えひめ震災対策アクションプランにおいて、基幹管路の耐震適合率を平成36年度目標値を45%としている。 |
| ② 地域の課題への対応 (地域の課題と整備計画の 目標の整合性) | ○ | 事業実施により、配水池、浄水場、基幹管路の耐震化(耐震適合)率が向上し、災害時等の安定的な水道の供給に繋がる。 |
| II 計画の効果・効率性 | | |
| ① 事業計画の目標と 定量的指標の整合性 | ○ | 事業計画の目標として適切な定量的指標の設定となっており、整合がとれている。 |
| ② 定量的指標の明瞭性 | ○ | 定量的に把握が可能な算定式により確実に算定される指標であり、明瞭である。 |
| ③ 目標と事業内容の整合性 | ○ | 目標を達成するために必要な事業内容であり、整合がとれている。 |
| ④ 事業の効果の見込の妥当性 | ○ | 事業実施により、配水池、浄水場、基幹管路の耐震化(耐震適合)率が向上し、災害時等の安定的な水道の供給に繋がる。 |
| III 計画実現可能性 | | |
| ① 円滑な事業執行の環境 (用地取得の見通し、関連 法手続きの見通し等) | ○ | 事業を実施する市町等において、用地取得及び関係機関との協議について、難航している案件はなく、円滑な事業実施が可能と判断できる。 |
| ② 地元の機運(当該事業に係る要望等) | ○ | 地元関係者の理解をおおむね得ており、地域住民からは、安心・安全な水の供給のためにも早期完成を望まれている。 |